

学力向上に向けた取組

函館市立高丘小学校

1 課題

表現力、思考力、判断力の育成
基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着

2 課題解決の具体策

効果的なTTのあり方や指導形態の工夫
互いに表現し合い、言語活動を重視した学び合い

3 取組の概要

について

- ・教師側が、伝えたいことの内容をしっかりと把握すること。
- ・T1, T2の役割分担や動きを確認すること。
- ・一斉、小集団、一斉など指導形態にめりはりを持たせる。
- ・単元によってはグループを作り、少人数学習も取り入れる。
- ・生活との関連を図った問題提示など、導入を工夫することにより、意欲を高める。
- ・反復学習を行う場を設定し、そこに教師が関わることで定着を図る。

について

問題解決的な学習の位置づけと算数的活動の充実

- ・低学年では、「隣同士」の伝え合いを重視する。
- ・高学年では自然発生的なグループによる伝え合いを意図的に仕組むことで、多様な意見交流を活発にさせる。
- ・「見る、まねる、繰り返す」を大切に扱う。
- ・具体物を使い、考えを伝える機会を逃さず、時間の保証をする。
- ・試行錯誤やほどよい苦勞を認め、大切にす。

4 成果と課題

算数科では、数値化する道具を自分たちで作ることにより、自分なりの解決方法を見つけ出すことにつながり、学習意欲に高まりが見られ、自分の考えややり方を周囲に説明しようとする努力が増す傾向が見られた。

日常生活に結びつく問題を提示することにより、実生活に役立つ学習として捉えることができた。

研修を通して学ぶことのできた教育技術を日々の授業にどう活かしていくか。

算数的活動として「伝え合い」のさらなる追究が必要である。